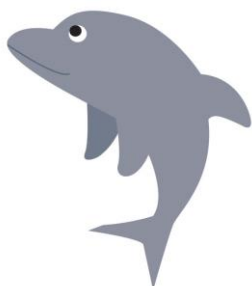




よむよむ

神川町立青柳小学校
2021. 7. 19
図書室便り No.6



青柳小学校職員による おすすめの本の紹介



6月21日月曜日の昼の放送では、丸山先生のおすすめの本を紹介しました。

私がおすすめする本は中山聖子さんが書いた「さよなら、ぼくらの千代商店」です。

この本には4人の小学生が登場します。4人はそれぞれ苦しい想いや悲しい想いを抱えています。「ここではないどこかへ行きたい」と願った時、目の前に小さな水色のバスが現れます。バスに乗ると行き先は千代商店。そこには子供たちを優しく迎えてくれる千代ばあちゃんがいました。千代ばあちゃんと話をしていると子供たちは大切なことを思い出します。そして心が軽くなって元の生活に戻っていきます。

みなさんもこれから苦しい想いや悲しい想いをすることがあるかもしれません。そんな時にぜひ読んでほしい本です。すぐには解決できないかもしれませんが、少し心が軽くなると思います。

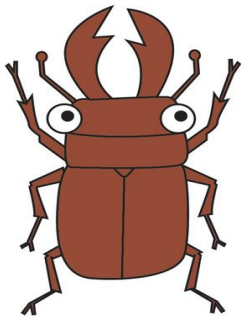
また、大人が読んで小学生だった頃を思い出してなつかしくなったり、登場する大人の想いに共感することができると思います。親子で読んで感想を話し合うこともおすすめです。

図書室にありますので、借りてみてくださいね。

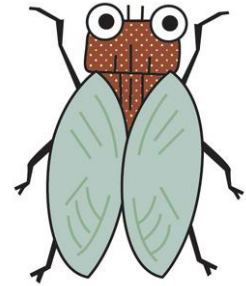


図書室前の廊下には、先生方のおすすめの本についての紹介文が掲示され図書室には紹介された本が置かれたコーナーが設けられています。

子どもたちは、先生方のおすすめの本を手にとって見たり、興味を示し借りています。



青柳小学校職員による おすすめの本の紹介



6月28日月曜日の昼の放送では、鎌田先生のおすすめの本を紹介しました。

わたしがおすすめする本は、まはら ひとみ さんの「なみだの穴」という本です。

泣くのを我慢している人のところにあらわれる「なみだの穴」、その穴を見た者は、涙が止まらなくなり、たくさん泣いた後には、さまざまな問題の解決のための糸口が見つかります。

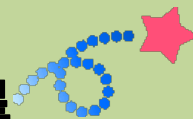
がまんしていることや嫌なこと、悲しさや寂しさといったネガティブな感情にフタをしないで、自分の中にいったん置き場をつくり向き合うことが大事なんだと教えてくれる本です。

とても感動しますし、とても勉強になる本です。

ぜひ、読んでみてください。



輝け読書の星



図書室の廊下には、「輝け読書の星」コーナーがあります。

20冊読んで読書カードがいっぱいになった子どもたちが読書の星カードに自分の名前を書いて貼っています。また、読書月間に10冊以上読んだ場合も掲示しています。すでに、貼る場所がないくらい子どもたちはたくさん本を借りて、読んでいます。

2学期もこの調子で、たくさん本を借りて読んでください。